

おかざき 議会だより

令和8年8月1日発行

vol.
233
2026

6月
定例会

- P02 一般質問
- P11 主な議案
- P12 委員会審査
- P13 討論
- P14 審議結果
- P15 9月定例会予定、委員会調査報告
- P16 表紙写真公募のお知らせ 他

(表紙写真の説明は裏表紙をご覧ください)

更に詳しい情報は
岡崎市議会HPへ



一般質問の掲載原稿は、発言に基づき質問議員が作成しています。

なお、本紙では、太字の質問項目から掲載しています。より詳しい内容や他の項目については、市議会HPで公開している議会映像でご覧いただけます。



前田 麗子（自民清風会）

- ・矢作川を中心とした交流・活用

金山 直樹（自民清風会）

- ・地縁団体への支援
- ・OKa-Biz（オカビズ）

佐藤 哲朗（民政クラブ）

- ・市営住宅
- ・特定小型原動機付自転車

井町 圭孝（民政クラブ）

- ・矢作川の流域治水
- ・スポーツ施設の使用料改定

山村 栄（公明党）

- ・指定避難所
- ・東公園

原 紀彦（民政クラブ）

- ・公共交通政策
- ・子どもたちの性被害に対する未然防止策

築瀬 太（自民清風会）

- ・地域包括ケアシステム

杉浦 久直（自民清風会）

- ・学生の公共交通利用
- ・二地域居住

酒井 正一（自民清風会）

- ・加齢性難聴

鈴木 英樹（民政クラブ）

- ・公共施設等総合管理計画におけるプール施設

中根 武彦（自民清風会）

- ・頼れる身寄りのない高齢者

加藤 義幸（自民清風会）

- ・動物行政

土谷 直樹（公明党）

- ・地籍調査
- ・空き家対策

蜂須賀 一郎（自民清風会）

- ・動物総合センター
- ・岩津地域活性化

本多 勝（無所属）

- ・学校給食

柴田 敏光（民政クラブ）

- ・本市の観光
- ・旧愛知病院跡地
- ・樹木の管理

鈴木 雅子（無所属・日本共産党岡崎市議団）

- ・公共施設の在り方
- ・ホルムズ海峡封鎖に対する影響

神谷 茂樹（自民清風会）

- ・展覧会と美術博物館等整備基金
- ・農業振興

野々山 雄一郎（自民清風会）

- ・バレーボールSVリーグ ジェイテクトSTINGS愛知
- ・本市のアリーナ
- ・スポーツでまちづくり

中根 善明（無所属・日本共産党岡崎市議団）

- ・利用者にやさしい東岡崎駅整備
- ・補助金
- ・弓道場

田口 正夫（自民清風会）

- ・1級河川鹿乗川の整備
- ・放課後児童対策
- ・矢作公園の整備

白井 正樹（民政クラブ）

- ・ファミリー・サポート・センター事業
- ・新しい防災気象情報

野本 篤（自民清風会）

- ・新価値・魅力共創プロジェクト研究
- ・中学校のチーム担任制

福田 澄代（チャレンジ岡崎）

- ・鹿乗川上流域における雨水対策

杉山 智騎（チャレンジ岡崎）

- ・特定外来生物
- ・災害時におけるペットとの同行避難

三浦 康宏（自民清風会）

- ・屋外運動場の照明設備

加藤 史朗（自民清風会）

- ・森林の維持確保
- ・文化施設の在り方

大原 昌幸（無所属）

- ・脳血管疾患

伊藤 正義（無所属・参政党）

- ・市営住宅の適正管理
- ・福祉医療の適正受診

瀬戸 清太郎（民政クラブ）

- ・大規模地震時に命を守る対策
- ・南東部地域の都市基盤整備

野島 さつき（公明党）

- ・障がい児・者への福祉サービス



自民清風会

前田 麗子



矢作川を中心とした交流・活用

問 歌川広重が描き、今もなお残してほしいとの声が寄せられる矢作橋からの眺望についての考えを伺う。

答 「矢作橋」「矢作川」「岡崎城」の構図は、本市の大切な風景であり、シビックプライドを醸成する原風景と認識している。市民意識の醸成を図りながら、原風景を将来にわたり守り生かしていく方策を引き続き研究していく。また、国の認可と協力が必要であるが、多自然型の河川改修を行ってきた河川敷内の緑地帯について、自転車専用道路を川沿いに設けるなど人々がくつろげる空間として活用することを試みたいと考えている。



自民清風会

金山 直樹



(1)地縁団体への支援 (2)オカビズ

問 (1)町内会をどう支えていくのか。

答 地域生活における良好な環境づくりを担っていると認識しており、重要な協働のパートナーと考えている。無理なく続けられ、いざというときに助け合える町内会という視点での支援を研究し、持続可能な地域コミュニティの未来像を模索していく。

問 (2)オカビズが民間事業者と競合する懸念についての見解及び役割と評価は。

答 オカビズは事業者が自らの強みを見つけるための特化型の相談所であるため、民業圧迫の恐れはないと考える。役割は商工関係団体などと連携し、切れ目のない支援体制づくりを担っている。評価は年間相談件数を指標とし、事例紹介などで成果の見える化を進める。



民政クラブ

佐藤 哲朗



市営住宅

問 借り上げ住宅は、市営住宅に対するニーズの変化にタイムリーかつ中期的な対応が可能と考えるが、これまでの検討内容は。

答 借り上げ方式では、公営住宅の短期間の契約が可能になることや既成市街地などへの配置ができること、多額な初期投資を抑制できるなどのメリットがある。しかし、国土交通省のガイドライン案にある事業収支比較では、借り上げ方式と現地建て替えて10年間の家賃助成を受けた場合で比較すると、スタート直後は借り上げ方式が安価となるが、9年目で経費が逆転し中長期的には借り上げ方式が高額となるため、本市では借り上げ方式の採用を見送っている。



民政クラブ

井町 圭孝



矢作川の流域治水対策・市民への啓発

問 1828年に矢作地域に甚大な被害をもたらした矢作川堤防切れからまもなく200年が経過するが、災害を風化させない取り組みを実施する考えは。

答 今年の秋に、愛知県との共催により、市制110周年記念事業「ブラアイチin岡崎」の開催を予定している。このイベントは、市内の過去の水害や治水対策を学ぶ防災に加え、まちづくりや産業の歴史を参加者に紹介するウォーキング形式の事業で、道路や河川といった社会基盤の必要性への理解を深めるとともに、本市の魅力を発信し、観光推進を図ることを目的としている。イベントでは、矢作川などの治水対策を取り上げる予定であり、参加者の防災意識の醸成にもつながると考えている。



公明党

山村 栄



(1)避難者の把握と支援の在り方 (2)東公園

問 (1)災害時の適切な支援のためには、避難者の所在の把握が重要である。避難先を事前に把握することについて、本市の見解は。

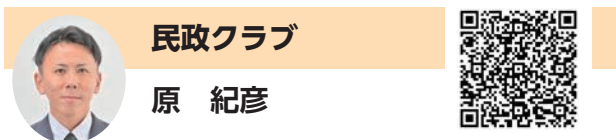
答 避難行動要支援者については個別避難計画の作成を進めている。一方、想定される避難者数の事前把握による支援には限界があるため、発災後の状況把握を主眼としている。

問 避難者の把握率そのものを高めることが重要と考えるが、本市の見解は。

答 地域と連携し、実効性のある避難者の把握体制の構築に努める。

問 (2)東公園の長寿命化計画における施設の更新と改修の内容は。

答 各施設の劣化状況や利用者数を見据えた上で優先順位を定め、計画的に進める。



民政クラブ

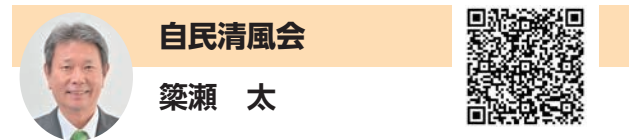
原 紀彦



北斗台地区での共助主体の公共ライドシェア

問 北斗台地区で本市初となる共助主体の公共ライドシェア導入に向けた体制整備が進んでいる。地域からは安全確保などに懸念の声も上がるが、市としての今後の支援策と、共助交通に重きを置く理由は。

答 バス路線を維持しつつ利便性を高めようとする地域の協力は、極めて重要である。安全面の確保は地域に委ねるのではなく、市が一定の水準を定め責任を持って担保すべきと考える。共助交通に重きを置く理由は、地域コミュニティの維持及び強化と、知り合い同士の乗り合い推進による公共交通の利用に対する不安や抵抗感の解消である。本市の目指す共助交通のモデルケースとして成功させるため、市がコーディネーターを配置しサポートする。



自民清風会

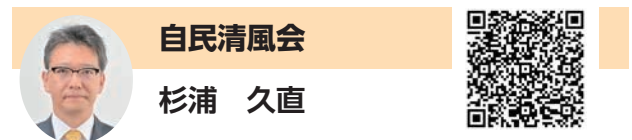
築瀬 太



地域包括ケアシステム

問 第10期地域包括ケア計画の策定の方向性について伺う。

答 中長期的な人口推計により、サービスの見込み量を試算し、合わせて地域特性に応じて自治体を類型化した三つの地域分類のうち、本市がどの分類に該当するかを適切に見極めつつ課題の洗い出しを行う。また、医療及び介護サービスの受け皿を確保するために、2040年に向けた医療及び介護の連携に係る提供体制について、適切かつ実効性のある協議を進める体制を目指す。本市においては「だれもが いつまでも いきいきと 健やかに暮らすまちをめざして」という基本理念の下、明確なビジョンを持って地域包括ケアシステムを推進できるよう新計画の策定に取り組んでいく。



自民清風会

杉浦 久直



(1)学生の公共交通利用 (2)二地域居住

問 (1)地域ブロック部活動の移動手段は主に保護者の送迎とのことだが、中学生の利用も考慮したバス路線ダイヤ設定への見解は。

答 地域全体の利用実態も踏まえ、中学生調査を含め若者ニーズを交通計画に反映し、利用しやすい公共交通体系の構築に努める。

問 (2)家屋敷課税の概要と今後の取り組みの方向性は。

答 市外居住者が、市内に使用できる家屋敷などを所有する場合に課税され、空き家などの情報を庁内で共有し課税事務を進める。

問 国が進めるふるさと住民登録制度の概要と、今後の本市における導入可能性は。

答 関係人口規模や地域との関係性を可視化するシステムで、可能性を検討したい。



自民清風会

酒井 正一



加齢性難聴

問 本市の今後の啓発活動の内容は。

答 加齢性難聴は自覚がないまま加齢に伴い少しずつ進行していくことが特徴である。啓発活動の柱として聞こえの講話と題した講座の準備を進めており、講話ではチェックリストを用いた聞こえの自覚と、医療機関への相談の重要性及び補聴器の正しい知識についての内容を予定している。65歳到達時の介護保険証発送の際にチラシを同封するプッシュ型啓発や、医師会と連携した周知啓発にも努める。

問 補聴器購入費補助制度の再開について、本市の考えは。

答 補聴器購入費補助制度の再開は、次の選択肢の一つとして認識しており、ニーズなどを踏まえ適切に判断していく。



民政クラブ

鈴木 英樹



公共施設等総合管理計画におけるプール施設

問 小学校プールの集約を視野に入れた小中学校プール全体計画を検討する考えは。

答 国や県の方針や他自治体の取り組み、市内の既存学校プールの状況、市内民間プール事業者の状況、その他公共施設の状況などを確認し、児童生徒のより良い教育環境の確保に向け、効率的で効果的な計画を検討する。

問 げんき館のプールを活用し室内プールへの集約化モデルとして検証する考えは。

答 PFI事業終了後の機会において、改めて健康増進施設としてのプールの位置付けを整理するとともに、施設配置の観点からスポーツ施設や教育施設としての機能を担うことができるか、集約化のモデルケースとして検証することは非常に有意義であると考えている。



自民清風会

中根 武彦



頼れる身寄りのない高齢者

問 市の施策として地域福祉を推進するための考えを伺う。

答 地域福祉の更なる推進は、第5次地域福祉計画策定に当たっての課題と認識している。次期計画では、地域の身近な誰かを頼ることは当たり前といった考え方をこれまで以上に啓発する必要性を感じている。限られた財源の中で、様々なサービスを持続可能なサービスとして未来へ引き継ぐためには、困難を抱える高齢者を地域で支えている市民や団体をしっかりと支えていくことが重要だと強く認識している。各種サービスと地域福祉の両立を、超高齢社会の重要な両輪と位置付ける。行政と地域、事業者など多様な主体が連携し、知恵を絞りたいと考えている。



自民清風会

加藤 義幸



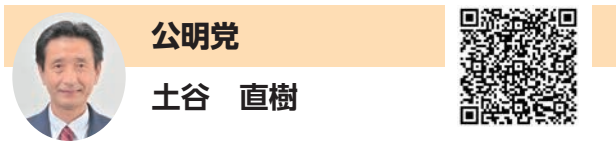
愛犬・愛猫の慰霊

問 岡崎墓園の一角に愛犬・愛猫の慰霊碑はあるものの、遺骨は静岡県富士宮市の本秀寺にて供養されている。本市からは遠く、高齢者などはお参りに行きたくても行けないため、遺骨を墓園内で供養できれば、市民が誰でもお参りできると思うが、見解は。

答 現在、ペットの火葬を含めた斎場の運営はPFI制度で実施されている。令和13年5月までが契約期間のため、それまでは現在の契約に基づき、本秀寺での供養を継続する。一方で、時代に即した施設やサービスを念頭に今後の墓園の在り方について、研究に努めたい。



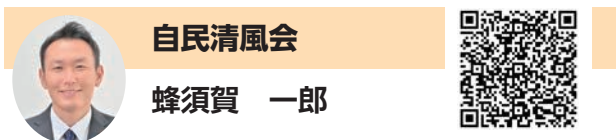
岡崎墓園にある愛犬・愛猫の慰霊碑



空き家対策

問 まだ管理が行き届いている段階から空き家をつくらないことが、今後の空き家増加を防ぐ一番のブレーキになると考える。専門家が一つのチームとなり、流通や利活用の最善策を提案する一歩踏み込んだ包括的なワンストップサービスの構築など、空き家予備軍対策の今後の考えは。

答 問題が深刻化してからの対応だけでは十分ではなく、空き家になる前の段階、いわゆる空き家予備軍への働きかけが重要であると認識している。今後も周知や啓発を行い、空き家になる前の段階での意識付けを強めていく。また、先進事例などについても調査し、本市においても空き家予備軍を含む空き家対策の課題解決につながる方策の研究を進める。



岩津地域の活性化

問 岩津地域では11月3日に松平三代目、信光の名を冠した「信光フェスタ」が開催される。松平信光は徳川家康公の祖先にあたり、三河武士のやかた家康館では、信光が題材の企画展が開催されるが、こういった企画展か。

答 信光フェスタの開催時期に合わせ、10月17日から11月29日まで、「(仮称)岩津松平氏輝き～松平一族飛躍の礎～」と題した企画展を開催予定である。信光は岩津を拠点に岡崎や安城などの地を入手し、庶子を分立※1させた。そのことが、家康公まで続くことになる。この歴史的意義を、重要文化財である信光明寺の棟札※2など地域に伝わる資料を中心に展示する予定である。また、企画展の開催中に岩津松平氏に関する講演会を現在調整している。

※1 庶子の分立……嫡子以外の実子に領地を与えて独立させ、各地に配置すること。

※2 棟札……建物の建築の記録として、棟木などに取り付ける木札のこと。建築年や関係者の名前などが記されている。



学校給食の質

問 年間約1億7,000万円分の食べ残しの削減と質の向上への振り分けの考えは。

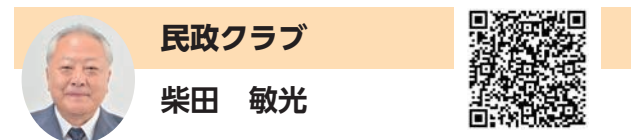
答 必要な予算を確保した上で適切な提供を考えており、残食の削減効果を活用する想定はしていないが、前年度を下回る残食率になるよう努める。

問 牛乳を飲めない347人の児童生徒への代替飲料の提供について、見解は。

答 牛乳の代替として豆乳やお茶などが考えられるが、誤配のリスクや保管などの課題があるため、各自で持参してもらう。

問 中学校の給食時間は県目安より約6分短い。食事と向き合うための取り組みは。

答 担任を中心に落ち着いた雰囲気をつくり、栄養教諭の巡回などで工夫している。



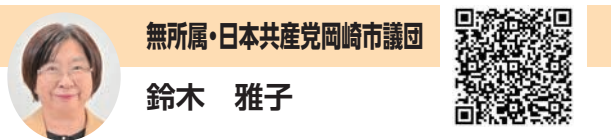
宿泊税の導入

問 全国的に宿泊税を導入している自治体が増えているが、本市として宿泊税を制度化して導入する予定はあるのか。

答 宿泊税の導入は、宿泊客に負担を求めることとなり観光客の減少も懸念されるため、現状では導入は考えていない。

問 本市で宿泊税の導入を検討する場合には、どのようなことが必要か。

答 仮に宿泊税を導入する場合は、観光における宿泊客の誘客促進を図る環境整備を進めるとともに、既に導入している自治体の事例を参考にし、宿泊事業者へのアンケート調査や意見聴取、意見交換などを通じた課題整理を踏まえ、具体的な制度設計を行い、導入に向けた検討をしていく必要がある。



無所属・日本共産党岡崎市議員

鈴木 雅子

学区こどもの家の廃止・集約化

問 こどもの家について小学校への集約を進めているが、モデル校で調査を実施して、課題が多すぎる場合は中止もあるのか。

答 検討結果により集約化を見直すことは考えていない。

問 利用者などへの説明スケジュールは。

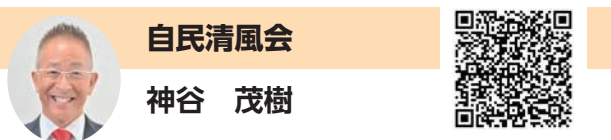
答 集約化の1年前には説明できるよう調整していきたい。

問 大人がスポーツを楽しむ機能は。

答 地区の体育館や市民センターなどの施設を検討して公共施設全体で考えていく。

問 利用者の声を無視して、廃止一択に見える。改修や建て替えの試算はしたのか。

答 公共施設等総合管理計画で箱物の総延べ床面積を15%以上縮減する目標である。



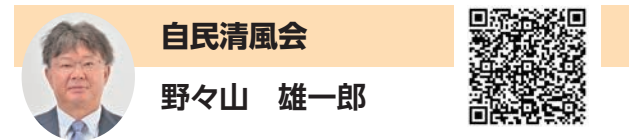
自民清風会

神谷 茂樹

美術博物館などの健全経営と基金の使途拡大

問 美術博物館と地域文化広場、美術館の美術系施設3館を将来にわたり維持していくため、自己収入の確保と、基金を含む財源をどのように配分していくか。

答 収集してきたコレクションを積極的に公開して展示用コストを抑制しつつ、集客力がある展覧会を開催し、入場料の見直しなども考えていく。また、美術博物館等整備基金の目的や積み立ての経緯を精査しつつ、施設の維持管理に必要な財源の確保を検討していく。



自民清風会

野々山 雄一郎

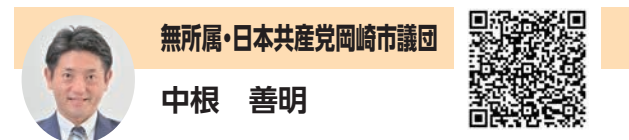
- (1)アリーナを活用したまちづくり
- (2)スポーツツーリズム

問 (1)2030年度以降のSVリーグのライセンス取得に必要な施設基準達成の課題は。

答 アリーナの新設は200億～300億円の事業費となる。調査により中央総合公園体育館アリーナの改修による基準達成を目指す。改修費用の財源確保が課題であり、プロスポーツを活用したまちづくりの視点での地域未来交付金など国県の交付金や企業版ふるさと納税などの財源確保を模索し、実現に向けて取り組む。

問 (2)スポーツツーリズムに対する考えは。

答 歴史観光に並ぶ来訪機会の創出につながるため、新ホテル計画が着実に動いている現在、持続可能で経済波及効果の高いスポーツツーリズムを推進する。多くの宿泊客を呼べるイベントとの併用で更なる効果も期待する。



無所属・日本共産党岡崎市議員

中根 善明

難聴高齢者補聴器購入費補助金

問 聞こえの対策と補聴器補助を同時に実施すべきと考えるが、市の見解は。

答 補聴器の正しい利用が加齢性難聴の対応に有効であるとは認識しているが、購入費を補助するだけでは効果が得られにくかったため、まずは啓発活動に先行して取り組む。

問 聞こえの対策や啓発活動だけでは加齢性難聴を予防できないと考える。難聴予防に補聴器の効果があるとしながら、補助をやめるのは介護予防の推進に逆行していないか。

答 介護予防の取り組みとして、ごまんとく体操などでの高齢者への意識付けや糖尿病などの疾病の重症化予防に取り組んでいる。今後は新たに聞こえの講話を組み込み、質の高い介護予防に取り組むことが大切と考える。



自民清風会

田口 正夫



鹿乗川の改修状況

問 矢作地区の浸水対策の要は、鹿乗川の整備と考えるが、事業の進捗状況は。

答 事業期間は約30年を想定しており、5年に1回程度発生が予想される、時間当たり最大雨量53 mm の洪水を安全に流下させることを目標に掲げている。現在は下流の安城市内を集中的に改修しており、上流の本市内は下流との流量バランスを考慮し、時間当たり雨量20 mm の暫々定整備が進められる予定である。

問 事業推進に向けての取り組みは。

答 安城市と連携し、毎年夏に国などへ要望活動を行っている。また、去年は9月の台風第15号の水害を受け、12月に緊急要望を実施した。今後も引き続き、強力に要望活動を行っていく。



民政クラブ

白井 正樹



(1)ファミリー・サポート・センター事業 (2)防災気象情報

問 (1)本事業の会員数と利用状況、援助の流れについて伺う。

答 令和7年度は、依頼会員が1,473人、援助会員が110人、送迎支援が5,684回、預かり支援が1,632回であった。援助の流れは、アドバイザーが依頼を受け、最寄りの援助会員とマッチングし、双方で内容を確認して活動を行う。

問 (2)新しい防災気象情報の市民への普及啓発について、重視する点と周知方法は。

答 防災気象情報と避難行動を結び付けて理解してもらうことが重要である。新しい防災気象情報に基づく具体的な行動について、市政だよりや防災ポータル、研修などで周知し、災害時に自らの判断で命を守る適切な避難行動をとれるよう、継続的な普及啓発を図っていく。



自民清風会

野本 篤



本市の中学校のチーム担任制

問 近年の学校現場は、課題の多様化で従来の学級経営では対応が困難となっている。その中で導入されるチーム担任制の効果は。

答 教員側のメリットは、教員同士の情報共有や相談が活発となり、学校の強みである同僚性が強化され、組織的な対応力の向上につながる。更に、経験の浅い教員が経験豊富な教員の指導方法を実践の中で学ぶ伴走型での育成が可能となり、教員の資質及び能力の向上にもつながる。子ども側のメリットは、複数の教員が担任として支えることによる安心感の向上が大きいものとする。現在は試行錯誤を重ねながら、その充実を図っている段階であり、全ての子どもにとって心理的安全性が高まる取り組みとなるよう、積極的に支援していきたい。



チャレンジ岡崎

福田 澄代



鹿乗川上流域における雨水対策

問 矢作北地域における雨水対策の現状は。

答 県の河川整備計画に基づき、鹿乗川の改修が進められている。また、矢作北小学校及び矢作北中学校、矢作中学校に貯留浸透施設を設置し、雨水の流出抑制を図っている。

問 公共施設を更に活用した雨水の流出抑制は可能か。

答 施設の整備の際に、流出抑制のため貯留浸透施設の設置を推進していく。

問 校庭を活用した雨水貯留機能の付加について、整備の課題や可能性は。

答 一時的に雨水を貯留した後も、校庭として速やかにかつ安全に利用を再開できるかを確認する必要がある。このような課題が解消できれば整備の可能性はあると考える。



チャレンジ岡崎

杉山 智騎



在来生物の生態系を脅かす特定外来生物

問

オオキンケイギクを含め、特定外来生物への対策に関する本市の考えは。

答

本市では毎年、自然環境をテーマに出前講座を実施しているが、オオキンケイギクの駆除に適した5月頃に出前講座を開催する際は、提案のあったオオキンケイギクの生息地での講座開催を考えていく。特定外来生物は繁殖力が強く、対策をしなければ在来生物の生息及び生育環境を奪い、絶滅の恐れに瀕する動植物が増すことが明らかであるため、新たな外来生物を生まないためにも、正しい知識を発信して、市民の認識を高め、他自治体の事例などを参考として、市民とともに駆除を進められる施策あるいは、なるべく人手を要さない効率的、効果的な施策も研究していく。



自民清風会

三浦 康宏



龍北運動場サッカー・ラグビー場の照明設置

問

土日祝日、平日夕方の稼働率が100%に近いサッカー・ラグビー場には照明設備がない。活動機会の創出、また暑さ対策のための照明設置に関し、本市の見解は。

答

近年の猛暑は、子どもたちを始め、利用者の安全確保やスポーツ活動の継続に大きな影響を与えている。夜間に運動できる環境の整備は有効な対策の一つであると認識している。サッカー・ラグビー場は市内公共施設の中では唯一人工芝でプレーできる施設であり、稼働状況などからも市民ニーズの高さがうかがえることから、照明整備を検討するのに適した施設であると考えている。一方で、整備には整理すべき課題が多くあり、他施設の利用状況も加味して、検討する必要があると考えている。



自民清風会

加藤 史朗



(1)森林の維持確保 (2)市民会館の今後

問

(1)地域商社株式会社もりまちを通じた林業6次産業化の取り組み状況、成果及び評価は。

答

民有林を活用した林業体験活動、企業向け社員研修など、森林サービス産業に取り組み、市産材利用の促進や森林資源の新たな活用につながっていると評価している。

問

(2)市民会館の移転、建て替えについての今後の見通しと検討の見込みは。

答

検討を始める時期が来たと考えている。現地での大規模改修、建て替え、新築移転など、様々な手法を考える前段階として、現在の利用状況の整理、近隣の類似施設の調査、課題の洗い出しなどを行い、今年度中に今後の検討スケジュールを立てていく予定である。



無所属

大原 昌幸



脳血管疾患

問

少量の血液での脳血管疾患の検査として、無症候性脳梗塞の有無を調べるアクトレイン検査や動脈硬化の進み具合を調べるロックス・インデックス検査を、市が実施する健康診査のオプションとして実施することについて、岡崎市医師会と協議していくことを提案するが、見解は。

答

これらの検査は脳梗塞などを起こす可能性の割合を示唆するリスク評価の検査であり、この結果が脳梗塞などの有無を意味するわけではなく、現時点では行政が行う健診のオプション項目として積極的な導入は考えていない。今後、医学の進歩に伴う新たな検査などが登場する可能性は否定できないので、国の動向を注視しつつ、情報収集に努めていく。



無所属・参政党

伊藤 正義



(1)市営住宅の適正管理 (2)福祉医療の適正受診

問 (1)現在の市営住宅入居者の滞納世帯数及び滞納額は。また、日本人世帯及び外国人世帯の内訳は。

答 令和8年6月1日時点の滞納世帯数及び滞納額は216世帯、約3,527万円である。日本人滞納世帯数は146世帯、約2,099万円、外国人滞納世帯数は70世帯、約1,427万円である。

問 (2)医療費無償化が進み、軽症でも安易に受診する、必要以上に薬をもらうといったことが増えることを懸念する。適正な受診を啓発していく必要があるが取り組みは。

答 医療機関の適正受診を呼びかけるチラシを作成し、福祉医療制度の受給者証を交付する際に配付している。また、市のホームページにも同様の内容を掲示している。



民政クラブ

瀬戸 清太郎



(1)子どもを守る防災対策 (2)美合駅の都市整備

問 (1)地震時のこどもの家における保護者への引き渡し体制と、折り畳み式ヘルメットの必要性は。

答 利用者カードの緊急連絡先情報などから保護者への引き渡しを実施する。小学校との連携についても検討していく。折り畳み式ヘルメットは有効な手段と認識しているが、保管場所や必要数量の確保、管理体制などの課題がある。今後も児童生徒の安全を確実に守る防災対策を検討していく。

問 (2)美合駅の交通結節機能への考えは。

答 名鉄名古屋本線の急行停車駅として、誰もが使いやすいユニバーサルデザイン化を推進し、パークアンドライドなど乗り継ぎしやすい快適な駅前広場の整備が必要と考える。



公明党

野島 さつき



障がい児・者への福祉サービス

問 障がいのある子どもが18歳を迎えると、制度が切り替わり、移行しないと支援が途切れてしまう。市ホームページに、この問題に特化したページの掲載を提案するが、見解は。

答 18歳にターゲットを絞った効果的な広報は大切な視点である。障がいのある若い世代や保護者などが利用しやすいホームページづくりを含め、引き続き改善に努めていく。

問 障がい者タクシーの利用助成券について、対象者全員にアンケートを取り、制度の検証をしてはどうか。

答 9年度の利用助成券を郵送する際、利用者アンケートの実施を計画しており、利用助成券の使い勝手の善し悪しなどを評価できるアンケート内容にしたいと考えている。

▶スマホで議会だより「マチイロ」

ご利用のスマートフォンやタブレット端末にアプリを登録すれば、最新の議会だよりが配信されます。



<登録方法>

左のコードを読み取っていただくか、App Store、Google playから無料アプリ「マチイロ」をダウンロードしてください。

令和7年度政務活動費収支報告

本市議会では、視察等報告・支出（領収書等）報告など、全て市議会ホームページで公開しています（下の二次元コードからインターネットでご覧いただけます）。また、市役所西庁舎1階の市政情報コーナーで閲覧することもできます。

ご不明な点は、議会事務局総務課（☎23-6382）までお問い合わせください。



主な議案

本会議で提出された議案の説明を受けました。
審議結果は、14ページに掲載しています。

条例議案

■市税条例の一部改正／地方税法等の一部改正に伴い、市税の課税の適正化を図る。

■子ども医療費助成条例の一部改正／子育て世代の経済的な負担軽減と子どもの健康を確保することで、安心して子どもを産み、育てることができる環境づくりを推進するため、現在中学生までとしている通院に係る医療費助成の対象者を、高校生世代まで（18歳到達後の年度末まで）に拡大する。

■幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件を定める条例等の一部改正／幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件について基準となる告示の一部改正に伴い、認定こども園における子どもの保育に従事する職員の配置数の算定対象に特定理学療法士等を加える等する。

■アジア・アジアパラ競技大会の開催に伴う病院の料金の特例に関する条例の制定／市民病院が、アジア・アジアパラ競技大会の大会指定病院として選手その他の関係者に対して医療を提供するに当たり、その料金の特例を定める。

■病院事業の料金に関する条例の一部改正／無痛分娩の提供を開始することに伴い、その料金を定める。

その他議案

■特定事業の契約の変更（2件）／南公園整備事業の契約、阿知和地区工業団地造成事業の

契約を変更する。

■物品の取得（4件）／救急業務用の物品（救急自動車）、消防業務用の物品（小型動力ポンプ積載車、小型動力ポンプ付積載車）、学校用の物品（タブレット端末）の買入れを行う。

補正予算議案

■一般会計補正予算（第2号）

○土木費／道路新設改良工事請負費に対し約8億537万円の増

■一般会計補正予算（第3号）

○民生費／生活保護費追加給付事務委託料など約1億893万円の増

○衛生費／インフルエンザ予防接種委託料、未来環境整備基金積立金など約5,459万円の増

○農林業費／スマート農業研修教育環境整備事業費補助金など約1,890万円の増

○土木費／スマートインターチェンジ整備事業費、交通政策推進事業費、標本等製作委託料（東公園動物園管理運営事業）など約1億6,146万円の増

○教育費／学校給食費無償化相当額給付金、消耗品費（通学帽子）、会計年度任用職員報酬等（教員業務支援員）、学校給食業務委託料など約1億1,907万円の増

■阿知和地区工業団地造成事業特別会計補正予算（第1号）／造成事業工事請負費に対し約6億6,645万円の増

令和8年度6月補正予算

	補正前	補正額	補正後
一般会計	1,559億5,533万円	12億8,899万円	1,572億4,432万円
特別会計	818億1,236万円	6億6,755万円	824億7,991万円
企業会計	680億9,218万円	0円	680億9,218万円
合計	3,058億5,987万円	19億5,654万円	3,078億1,641万円

委員会審査

常任委員会を開催し、付託議案の審査を行いました。
主な内容は次のとおりです。

総務企画委員会

特定事業の契約の変更（阿知和地区工業団地造成事業）

問 変更理由と金額の妥当性及び収支見込みと回収の見通しは。

答 工事の進捗に伴う想定を超えた硬い岩の出現が見込まれること、及び安全性や将来の維持管理を見据えた設計変更が必要なため、約17億円の増額を行う。金額は、国や県の算定基準と現場の実態を踏まえて算出しており、専門的な外部コンサルタントも交え、二重のチェック体制を構築している。今回の増額で、支出約218億円、収入約190億円と、約28億円のマイナスの収支と見込んでいるが、税収見込みは年度当たり約12億円で、固定資産税3年及び事業所税資産割5年の奨励金制度の適用を勧案しても、操業開始から3～4年程度でマイナス分を十分に回収できる見通しである。

福祉病院委員会

子ども医療費助成条例の一部改正

問 令和6年9月定例会では、財源の確保が課題ということであったが、現在の見解は。

答 高校生世代への通院医療費助成の拡大に必要な財源確保の見通しは、6年度時点の試算では年間約3億8,000万円と見込んでいたが、他市の状況や国の統計資料を用いた試算により、約2億3,000万円と下方修正する試算結果となった。また、本市の子ども医療費は5、6年度の決算、7年度の決算見込みが、いずれも減額で推移していることや、受給者数が毎年1,000人以上減少していることなどから、本市のここ数年の子ども医療費の予算額と同程度の予算に収まる試算結果となり、9年4月から開始した場合でも、他の事業への影響を最小限に抑えて、制度が導入できる見通しである。

文教経済委員会

物品の取得（タブレット端末）

問 更新端末の性能と、既存端末からの性能向上により学びの充実に期待することは。

答 更新端末の画面サイズは表示領域が約15%拡大し、ストレージ容量は128^{ギガ}バイトに増え、背面カメラも1,200万画素に向上した。また、処理性能が高まり、複数アプリの同時利用も快適になった。個別最適な学びにおいては、多様な入力手段や高性能なカメラ機能を活用することで、児童生徒一人ひとりの発達段階や特性に応じた記録、表現が可能となる。協働的な学びにおいては、端末の処理速度向上と容量拡大により、蓄積されたデータの迅速な共有や、クラウドを通じたリアルタイムな共同編集などを通じて、相互に意見を交換し、学び合いを深化させることが期待される。

建設環境委員会

特定事業の契約の変更（南公園整備事業）

問 契約変更の内容は。

答 南公園整備の設計、工事に係る費用の支払いは、全ての工事が完成し、市に施設の所有権が移転した後に整備費の75%を支払い、残りの25%は維持管理運営費と合わせて割賦^{かつ}払いとする当初契約を6年3月に締結したが、契約後に国から補助金が交付されることになったため、整備費の75%の支払い方法について、事業者募集時に定めた一括払いから補助制度のルールである年度ごとの出来高払いに契約を変更した。この変更によって、事業者は事業提案時に示した借入金を減らして整備を進めることが可能となり、割賦手数料などが縮減できるため、契約金額は約746万円の減額となる。

令和8年度一般会計補正予算

自民清風会

「地域農業構造転換支援対策事業補助業務では、本市のいちご産地化を目指したスマート農業型研修農場の整備への補助は、農作業の負担軽減、担い手の確保など、課題解決に着実に取り組みつつ、将来的にはいちご産地として本市の存在感が増し、いちごの町としてのブランド化につながるなど、可能性を秘めた挑戦と評価すべきと考える」と意見を述べ、**賛成**した。

民政クラブ

「児童育成センター運営委託料について、医療的ケアを必要とする子どもたちとその家族が地域で孤立することなく、安心して放課後を過ごし、就労を継続できる居場所を提供しようとする姿勢を評価する。市民から医療的ケア児の受け入れの要請があった場合には、個々の状況を十分に把握した上で、必要な体制を確実に整えることを期待する」と意見を述べ、**賛成**した。

公明党

「北斗台団地は自分たちで守るという共助の思いが強く、巡回バスも撤退されないよう皆で利用し守ってきた。グリーンスローモビリティの運行は日常の移動を支えるだけでなく、地域コミュニティを維持する上でも大きなメリットがある」と意見を述べ、**賛成**した。

チャレンジ岡崎

「75歳以上のインフルエンザワクチン定期接種に関して、高用量ワクチンが選択できる制度に変更されたことに伴うシステム改修で、運用に変更はないものの、利用方法によって医療機関にメリットがあるため、新しい機能として周知されたい」と意見を述べ、**賛成**した。

無所属・日本共産党岡崎市議団

「障がい福祉サービス給付システム改修委託料は報酬の改定に伴うものである。働く人たちの処遇改善については賛成するが、新規事業所の報酬が既存の事業所より低く設定されている。同じ事業で報酬に違いを作ることは、あからさまな抑制策である」と意見を述べ、**反対**した。

特定事業の契約の変更（阿知和地区工業団地造成事業）

自民清風会

「本市が選ばれる町であり続けるため、税収確保が最重要課題の一つであることは言うまでもない。本事業は将来的には年間約12億円の税収及び4,400人の雇用が見込まれる、未来への投資事業であることを見失ってはならない。費用の厳正なる精査、確実な工程管理を前提として、長期的な投資事業の目線による冷静な評価を願う」と意見を述べ、**賛成**した。

民政クラブ

「今回の増額の見直しは、予防保全対策を含めて将来の維持管理費の抑制や施設の長寿命化を図るための合理的な見直しであり、一定の妥当性が認められる。一方で、造成事業全体の事業費は、資材価格や労務費の上昇などにより増加しており、市民からも厳しい目が向けられている。工程管理の徹底と着実に事業が推進されることを強く要望する」と意見を述べ、**賛成**した。

公明党

「現在造成工事が進んでいるスマートインターチェンジやアクセス道路の完成により、物流効率は大幅に改善される。進出企業による固定資産税の税収増などを考慮すれば、中長期的に市の財政に大きく寄与し、市民生活に反映できるものと考えられる」と意見を述べ、**賛成**した。

チャレンジ岡崎

「安全性や品質を確保しながら丁寧に事業を進めたことが必要な判断であったと評価されるよう、一丸となって取り組んでいるものと考えており、本市の将来の事業運営や財政面を考慮して本契約変更は妥当である」と意見を述べ、**賛成**した。

無所属・日本共産党岡崎市議団

「完成間近になって管理上必要な整備のための費用が追加となった。PFI事業は性能発注で、市が要求する性能を実現するはずである。企業優先に税金投入したしわ寄せが市民に押し付けられている」と意見を述べ、**反対**した。

審議結果

6月定例会

件名		採決等の結果	件名		採決等の結果
市長提出議案					
承2	市税条例の一部を改正する条例の専決処分	承認(全員)	市93	令和8年度宮崎財産区特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
市77	特定事業の契約の変更(南公園整備事業)	可決(全員)	市94	特定事業の契約の変更(阿知和地区工業団地造成事業)	可決(多数)
市78	物品の取得(救急自動車)		同2	公平委員会の委員の選任	同意(全員)
市79	物品の取得(小型動力ポンプ軽積載車)		同3	農業委員会の委員の任命	
市80	物品の取得(小型動力ポンプ付積載車)		諮1	人権擁護委員の推薦	異議なし(全員)
市81	物品の取得(タブレット端末)		※採決等の結果が分かれたものの詳細は、議案の賛否一覧表をご覧ください。		
市82	市税条例の一部改正	可決(多数)			
市83	子ども医療費助成条例の一部改正	可決(全員)	件名		
市84	幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件を定める条例等の一部改正		陳情		
市85	児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例等の一部改正		陳2	建築物に対する命令書に関すること	
市86	幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営の基準に関する条例等の一部改正		陳3	化学物質過敏症に関すること	
市87	アジア・アジアパラ競技大会の開催に伴う病院の料金の特例に関する条例の制定		陳4	最低賃金の全国一律化と大幅引き上げ、中小企業支援の拡充と公正取引を求める意見書の提出	
市88	病院事業の料金に関する条例の一部改正	可決(多数)	陳5	愛知県最低賃金の適切な引き上げに愛知県が積極的な役割を発揮することを求める意見書の提出	
市89	令和8年度一般会計補正予算(第2号)		陳6	公契約事業従事者の適正賃金と安定雇用を確保する公契約法の制定を求める意見書の提出	
市90	令和8年度一般会計補正予算(第3号)		陳7	住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実を求める意見書の提出	
市91	令和8年度阿知和地区工業団地造成事業特別会計補正予算(第1号)		陳8	地方財政の拡充を求める意見書の提出	
市92	令和8年度額田北部診療所特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)	陳9	保育所職員の人材定着・確保のため保育士配置基準と公定価格を抜本的に改善し、離職しない保育職場の実現を求める意見書の提出	
			陳10	介護・障害福祉職場の1人夜勤をなくし、複数配置を基準とすることを求める意見書の提出	
			陳11	教職員の長時間過密労働を解消するための実効ある施策をすすめ、年間を通じた教員の未配置を直ちに解消するための施策を求める意見書の提出	
			陳12	岡崎市の学童保育の充実をもとめること	

※陳情は、市長等の関係機関へ意見を付して送付しています。

議案の賛否一覧表		賛成・反対の双方があった議案について表示しています。(○：賛成、×：反対)																																						
議案	会派名 議員名	自民清風会												民政クラブ						公明党		チャレンジ岡崎		無所属		無所属		議副												
		磯部亮次	加藤史朗	加藤義幸	金山直樹	神谷茂樹	酒井正一	杉浦久直	鈴木静男	田口正夫	中根武彦	野々山雄一郎	野本篤	蜂須賀一郎	前田麗子	三浦康宏	築瀬太	井町圭孝	加藤嘉哉	佐藤哲朗	柴田敏光	白井正樹	鈴木英樹	瀬戸清太郎	原紀彦	土谷直樹	野島さつき	山村栄	小田高之	杉山智騎	福田澄代	鈴木雅子	中根善明	伊藤正義	大原昌幸	本多勝	荻野秀範	畑尻宣長		
市82、89、90、91、94		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○

※会派の名称：議＝議長、副＝副議長、無・共＝無所属・日本共産党、無・参＝無所属・参政党
※議長は議決に加わらないため「－」と表示しています。

9月定例会予定

9月定例会の
請願・陳情提出締め切りは、

8月7日金
16時00分

です。

月	火	水	木	金	土	日
8/24	25 開会、 市長提案説明、 議案説明、 一般質問	26 一般質問	27 一般質問	28 一般質問	29	30
31 議案質疑、 委員会付託、 予算決算委員会	9/1	2	3	4 予算決算委員会	5	6
議案検討						
7 予算決算委員会 建設環境分科会・ 建設環境委員会	8 予算決算委員会 福祉病院分科会・ 福祉病院委員会	9 予算決算委員会 文教経済分科会・ 文教経済委員会	10 予算決算委員会 総務企画分科会・ 総務企画委員会	11	12	13
14	15 予算決算委員会	16 議会運営委員会	17	18 委員長報告、 質疑、討論、 採決、閉会	19	20

○各会議の開催時刻は午前10時の予定ですが、予算決算委員会分科会・常任委員会の開催時刻は午前9時30分の予定です。

9月定例会の日程について

上記の議会日程は予定であり、今後変更する場合があります。
変更する場合は、岡崎市議会ホームページでお知らせいたします。

議会中継について

議会中継は、右の二次元コードからインターネットでご視聴いただけます。



●委員会調査報告（3月定例会終了後～5月）

常任委員会	
総務企画	
4月21日	阿知和地区工業団地（文教経済と合同開催）
福祉病院	
4月24日	福祉医療
文教経済	
4月21日	阿知和地区工業団地（総務企画と合同開催）
建設環境	
4月20日	南公園の整備

議会広報委員会	
4月2日	1 議会だより第232号の発行 2 意見交換会の開催 3 議会だより表紙写真等の公募
4月8日	1 意見交換会の開催 2 議会だより表紙写真等の公募
5月13日	議会だよりの編集（習志野市へ視察）
5月14日	議会だよりの編集（船橋市へ視察）

特別委員会	
市民病院のあり方検討	
4月21日	地域医療構想における自治体病院のあり方（愛知県へ視察）
5月12日	自治体病院の現状と地域医療構想（厚生労働省へ視察）
5月13日	ふじのくに社会健康医療連合の取組（地域医療連携推進法人ふじのくに社会健康医療連合へ視察）
5月18日	これまでの委員会の総括
ハラスメント対策調査検討	
4月23日	委員会の今後の取組
5月12日	ハラスメント対策の取組（檀原市へ視察）
5月13日	岡山市カスタマーハラスメント防止条例（岡山市へ視察）
5月18日	これまでの委員会の総括

議会運営委員会	
5月13日	議会改革の取組（さいたま市へ視察）
5月14日	議会改革の取組（足立区へ視察）
5月20日	6月定例会の運営

「議会だより」の
表紙を公募!

あなたの作品が
表紙を
飾ります!

議会だよりの表紙を飾る作品を募集します。
皆さんが撮影・制作した「岡崎の魅力」を
ぜひお寄せください。



募集内容

① 写真

- ▶ 岡崎市の風景、人物、動植物、イベント等のデジタル写真
- ▶ 未応募・未発表のもの。向きは「縦構図」を推奨

② 絵画・イラスト

- ▶ 手書き・デジタルの自作作品。
(岡崎市に関連したもの)
- ▶ 生成AIのみでの作品は対象外
- ▶ 未応募・未発表のもの。向きは「縦構図」を推奨

応募資格 岡崎市在住、在勤、在学のかた

詳細は、ホームページ又はお電話でご確認ください。

問い合わせ 岡崎市議会事務局総務課 政策調査係 TEL:0564-23-6971 FAX:0564-23-6538

応募締切

10月15日(木)まで

10月16日以降の応募は、12月定例会号以降の掲載対象となります。

掲載対象

11月臨時会号
(12月1日発行予定)

応募方法

① 持参又は郵送

応募用紙と写真等データを収めた電子媒体(CD、DVDなど)

② オンライン申請による応募

オンライン申請フォームからデータをアップロード

※データ容量は最大10MBまでとなります。



表紙の写真



5月の青空の下、小学校プールにてPTAや水泳部などの皆さんが協力し、丁寧に清掃をしている様子です。夏の到来を前に、子どもたちが安心して笑顔で利用できるプール環境を協力して整える、爽やかで心温まるひとときとなりました。

会派等の連絡先

自 民 党	清 風 会	☎23-6390
民 政 党	ク ラ ブ	☎23-6394
公 明 党		☎23-6396
チ ャ レ ン ジ 岡 崎		☎23-6364
無 所 属	日 本 共 産 党	☎23-6397
	参 政 党	☎23-6524
	無 所 属	☎23-6524
議 会 事 務 局		☎23-6377

議会の日程、請願・陳情などに関する事項は、議事課
(☎23-6381・FAX23-6538)までお問い合わせください。